

市町村からの要望への対応について

	事業区分	市町村からの要望概要	県の考え方
市町村提案型事業	荒廃した里山・平地林の整備	① 事業実施の際に、市町村、土地所有者、事業実施者の3者で結ぶ転用等権利制限に関する協定期間（10年間）が永い。 ② 竹林整備は費用がかかるため、上限2,700千円/haを上げてほしい。 ③ 「困難地整備支援」の補助単価の上限を上げてほしい。 ④ 道路沿線については、特殊伐採が必要になり実行経費とかなりの開きがあるため、上限額の再検討をしてほしい。 ⑤ 「管理」の補助単価の上限を上げてほしい。 ⑥ 事業主体の構成員に対する人件費も認めてほしい。 ⑦ 市町村有林も補助対象に認めてほしい。 ⑧ 粉砕機を外部に管理委託する場合の費用を補助対象に認めてほしい。 ⑨ 市町村保有の粉砕機の管理等も補助対象として認めてほしい。 ⑩ 粉砕機・刈払機の本事業実施団体以外への貸与も認めてほしい。 ⑪ 一定条件（林道協等）を付けて、低木苗木の購入も補助対象に認めてほしい。 ⑫ 管理団体が確保出来ない場合でも補助してほしい。 ⑬ 「管理」を必須要件から外してほしい。 ⑭ 定額補助にしてほしい。 ⑮ 市町村の負担が大きいことから、人件費や事務費も認めてほしい。	① 転用制限等のための協定期間10年と「管理」の5年以内との混同もあるので、詳細説明をして内容の理解に努めたい。 ② 竹林整備については、本事業で当初想定していない作業内容（皆伐、樹種転換）について検討したい。 ③④ 森林整備については、本事業で当初想定していない作業内容（皆伐、樹種転換）について検討中。 ⑤ 開始年度であることから、実績等を把握し必要性に応じて検討したい。 ⑥ 事業主体の構成員に対する人件費は、補助対象になじまないと考えている。 ⑦ 森林経営以外の作業については、必要性に応じて検討したい。 ⑧⑨ 維持管理については、管理者の範疇と考えている。 ⑩ 本事業で購入したものは、基本的に本事業での使用を想定している。 ⑪ 高木性樹種を植栽した上で、上限額の範囲内で低木苗木の購入は可能と考えている。 ⑫⑬ 地域住民との協働を基本理念としているため、「管理」は必須と考えている。 ⑭ 公共性、公平性、透明性の観点や他事業との整合性などを考慮した制度とした。 ⑮ 事業実施を最優先としており、人件費等は補助対象になじまないと考えている。
	貴重な自然環境の保護・保全	① 補助上限額を上げてほしい。 ② 同一箇所でも、保護・保全する対象が異なれば補助も別と考えてほしい。 ③ 事業主体の構成員に対する人件費も認めてほしい。 ④ 県指定天然記念物などの生息域の保護・保全も認めてほしい。	①② 保護・保全する対象の実情等をよく把握した上で、考え方を整理したい。 ③ 事業主体の構成員に対する人件費は、補助対象になじまないと考えている。 ④ 所管部署とよく調整・協議をされたい。
	森林環境教育・普及啓発	① 1市町村当たりの上限額（2,000千円）を廃止してほしい。	① 市町村規模等の関連から上限額について再検討したい。
	森林の公有林化	① 土地購入費だけでなく、測量や調査費等も認めてほしい。	① 購入費を最優先としており、測量、調査費等は補助対象になじまないと考えている。
	独自提案事業	① 林道の維持管理費を税事業で認めてほしい。	① 本事業の主旨は、「豊かな水を育み、災害に強い森林づくり」と「里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造」することなので、林道の維持管理はなじまないと考えている。
	その他	① 市町村に頼らない制度設計にしてほしい。 ② 補助金の事務を簡素化してほしい。	① 市町村の実情に応じて活用していただきたいと考えている。 ② 補助金の事務は簡素化に努めているが、要望内容等を確認の上検討したい。
の水源地整備等	条件不利地森林整備	① 市町村有林も対象としてほしい。	① 条件不利な市町村有林があることは認識しているが、まず私有林整備を優先したいと考えている。本事業は、面的・一体的に整備することが重要と考えているので、今後検討したいと考えている。
	水源林機能増進	① 市町村管理の簡易水道施設等以外も認めてほしい（小水道組合管理なども）。	① 公益性の高い簡易水道等については、対象とする方向で検討したい。
	松くい虫被害地の再生		